

# 県政かわら版

1面～2面 地域の防災力を高めよう  
3面 家庭での食中毒を予防しよう/水俣病被害者の方へ  
4面 情報ボックス/特産品プレゼント



集中豪雨、火山噴火、地震、津波など近年の自然災害は想像を超える規模に変化しています。被害を最小限にするためには、県民一人一人が災害や予防対策に関する知識を身につけるとともに、自主防災組織の結成などにより、地域住民が互いに協力し、早めに避難することが必要です。危険箇所の点検や訓練など、日頃からできる防災対策に県民、行政一体となって取り組みましょう。

平成22年10月の奄美集中豪雨による土砂災害(龍郷町浦地区)

## 災害から身を守るため、住んでいる地域を日頃から確認しておこう!

### こんな前兆に気をつけて!

#### がけ崩れの前兆

- がけから水が湧き出してくる
- がけに亀裂が入る
- がけから小石がバラバラ落ちてくる
- がけから木の根が切れるなどの異様な音がする

#### 地すべりの前兆

- 井戸や沢の水がにごる
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふき出す
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く

雨が降りやんだ後でも土砂災害が発生することがあるので注意が必要です!!

#### 土石流の前兆

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 川の水が急ににごったり、流木がまざり始める
- 腐った土の臭いがする

※ここに紹介した土砂災害の前兆は、すべてではありません。これらを参考に早めに避難しましょう。

### こんな地形では、こんな災害に注意!

山岳地帯		山崩れに注意が必要です。山崩れは集中豪雨ばかりではなく、地震によっても発生します。特に、シラス地帯では、崩れやすいので注意しましょう。
扇状地		山間部の集中豪雨に注意してください。豪雨によって山崩れが起ると、土石流の危険があります。
急傾斜地		がけ崩れに注意が必要です。がけ崩れは、豪雨などによって突然発生します。
河川敷		河川の流域や、かつて河川敷だったところは、豪雨によって洪水に見舞われる危険があります。

※危険箇所の詳しい場所については、お住まいの市町村などに確認してください。

## 土砂災害警戒情報などをご活用ください

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害発生の危険度が高まったとき、県と気象台が共同して市町村単位で発表するもので、市町村が行う防災活動や避難勧告などの判断を支援するとともに、住民の自主避難の判断などにも利用できる情報です。市町村の広報車や防災無線、テレビやインターネットなどでお知らせしていますので、早めの避難の目安にしてください。

また、県内各地の降水量、土砂災害危険指標、主要河川の潮位などの情報は、土砂災害発生予測情報システム・河川情報システムで確認することができます。

土砂災害発生予測情報システム・河川情報システム  
【パソコン】 <http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/>  
【携帯電話】 <http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/mobile/>

身の周りの土砂災害危険箇所や土砂災害危険区域については、土砂災害情報マップでも確認することができます。

土砂災害情報マップ  
<http://www.sabomap.jp/kagoshima/>





# 地震・津波災害から身を守るために

3月11日に三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、大津波により、東北地方から関東地方にかけて、極めて広い範囲で甚大な被害が生じました。また、この地震で発生した津波は、鹿児島県沿岸にも到達しています。

「災害はひとごと」と思わず、自分自身を守るために平時から、「自分でできること」、「みんなでできること」などについて考え、災害に備えておくことが大切です。

## 地震・津波に備えよう!

地震は、いつ発生するかわかりません。津波は、想像以上のスピードと破壊力をもっています。事前にできることは確実にし、また、災害時に必要となる非常用品などの準備や点検を定期的に行いましょう。また、地震発生後についても次のことをし、自分自身の安全を確保しましょう。

### 非常時に備えて(3つのポイント)

#### 非常持出品を備える



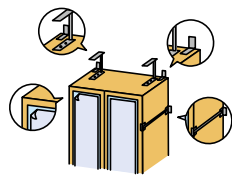
【すぐに持って逃げるもの】  
・携帯ラジオ ・懐中電灯  
・非常食、水 ・救急医療品  
・現金、貴重品 ・衣類 など

#### 非常備蓄品を備える



【最低3日分を準備】  
・飲料水(一人1日3リットル)  
・米(缶詰・レトルト)やインスタント食品などの非常食  
・洗面用具などの生活用品 など

#### 家具の転倒や落下を防ぐ



【家具の転倒などを防ぐ】  
・金具や支え棒による固定  
・高いところに物を置かない  
・寝室や高齢者のいる部屋には家具を置かない

## ご存じですか?

### 緊急地震速報

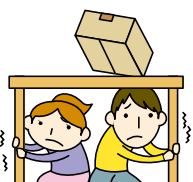
- 地震による強い揺れがくることを、テレビやラジオで可能な限り素早く知らせる情報です。
- 携帯電話をお持ちの方は、情報収集のために「**地震速報メール**」を活用しましょう。  
※受信できる携帯電話の機種や受信設定などの詳細については、携帯電話各社のホームページなどでご確認ください。

### 津波情報・注意報

- テレビやラジオ、インターネットなどで地震や津波に関する情報を収集しましょう。  
**気象庁ホームページ「津波情報・注意報」**  
<http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/>
- 地震や津波の発生時には各市町村の広報車や防災無線などでもお知らせしています。
- 揺れを感じなくても、遠方で発生した地震で津波が到達することもあります。津波の高さや到達時間に関する情報に注意しましょう。

## 地震が起きたら

### まずは身の安全を



揺れを感じたら、丈夫な机やテーブルの下に身を隠しましょう。

### 冷静に火元を消す



使用中のガス器具やストーブなどは、あわてず冷静に火を消しましょう。

### 非常脱出口を確保



地震で建物がゆがみ、出入口が開かなくなることがあるため、ドアを開けて逃げ口を確保しましょう。

### 情報収集と早めの避難が重要



強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ急いで高台や、市町村や自主防災組織が勧める安全な場所へ避難しましょう。

## 日頃からできる災害への備え

### 地域ぐるみで災害へ備えましょう

#### 避難の支援・協力体制づくり

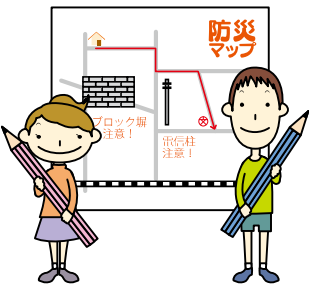
突然の災害により被害を受けやすいのは高齢者や子ども、障害者などの何らかの助けが必要な方です。

日頃から積極的なコミュニケーションを図り、地域内での具体的な支援・協力体制を整備しましょう。



#### 危険箇所や避難場所を知る

市町村や自主防災組織が作成している防災地図を活用して、災害時の地域の弱点を把握し、避難場所や避難経路、避難方法の確認をしておきましょう。



#### 自主防災組織などへの参加

自分たちの地域は自分たちで守るため、自主防災組織の活動に参加、協力をしましょう。日頃から防災研修や訓練に積極的に参加し、防災の知識を習得しましょう。



### 防災研修センターをご利用ください

市町村や自治会などが主催する防災研修会などに防災の専門家を派遣する出前講座や館内防災研修・見学を行っています。



館内見学の様子

(問い合わせ先) 県防災研修センター  
☎0995(64)5251

### 県地域防災推進員をご活用ください

県では、地域で防災活動の指導的役割を担う「地域防災推進員」を養成しています。自主防災組織の結成・運営の指導・助言などを希望される場合は、各市町村へお問い合わせください。



地域防災推進員の講習の様子

### 「県民防災週間」での取り組み

毎年、5月第4週の県民防災週間では、県民の参加のもと、防災気象講演会や風水害・火山噴火・地震・津波などを想定した県総合防災訓練、防災点検などを実施しています。



防災訓練の様子